もうすぐ春

沈丁花のつぼみ
（玄関アプローチ）

さくら新聞

～笑顔de共育て～

令和４年２月１日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町７－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

月の主題　寒さに負けずに過ごそう
今月の保育のねらい
健康に配慮し、寒さに負けず元気に過ごす

遊ぶことは学ぶこと

子どもたちは日々、生活や遊びをとおして生きる力や学ぶ力の根っこを自ら育んでいます。

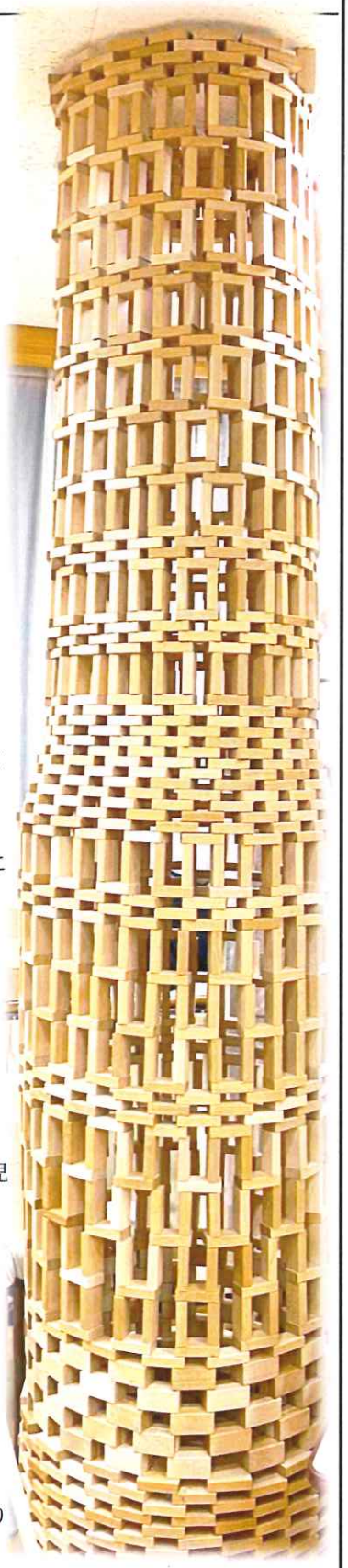
保育園は、毎日の生活と豊かな遊びを十分に保障し、子どもが自ら育つ力が発揮できるように環境を整え、子どもを援助する役割を担っています。子どもたちが大人になることに憧れ、生きている世界に目を広げ、よりよい社会を作り出すひとりとして成長していくためには、そばにいる大人がどれだけ広い世界をもっているかにかかっていると感じます。

そこで保育園では、保育の質向上を目指し毎月、子どもの発達、応急手当、あそび、絵本、食などテーマを決めて、職員の園内研修をしています。

先月は『積み木あそびについて』でした。

まずワークショップとして「天井に届くまで積む」の課題のもと、3グループに分かれ積みました。制限時間は40分！！

積む人、積み木を渡す人、全体のバランスを見る人、台を支える人と自然に役割分担をして積むグループ。上手に積む人の様子をまずは観察してから全員で積み始めるグループ。いかに美しく積めるかを話し合いながら積むグループ。大人も子どもと一緒で人となりのカラーが出るなと感じました。ただ積むのではなく「アミダ積み弱いからしばらくレンガ積みね」「あ、崩れる！もう一段レンガ積みでいこう！」と自分たちで名付けた積み方で和気あいあいと楽しみ、「あ！！あっちのグループもう天井に届く！」「もっと台もって来て」といつの間にか競争のような雰囲気でさらに盛り上がり、無事、制限時間内に3本の美しい塔が出来上がりました。



『よく遊ぶということは「あぁ楽しかった」「できた！」の達成感を感じることだと体験して改めて感じた』

『積み木は所属感や貢献感をこんなにも感じられるものなのだなぁと感動した。集団だからこそ楽しめる、感じられることがたくさん詰まったあそびなのだと感じた』

など、普段あまり積み木を手にとることの少ない乳児クラスの保育士や専門職の職員からの研修の報告が届きました。実際に体験するからこそ感じることのできたひとときでした。

ひとり遊びから集団遊びへと変化していく積み木遊び。友だちと思いを合わせ、イメージを共有しながら積み上げ、ときにはごっこあそびへと広がっていき、子ども同士の関係を深めてくれる積み木遊び。

家庭では経験できない、保育園という集団生活だからこそ経験できる積み木あそびの世界。ぜひ、子どもたちのあそびの物語の世界を見たり、聴いたりしてあげてくださいね。　　文責：有馬　聡子

2月 行事予定

日	曜日	内　容
1	火	情報伝達訓練
3	木	節分
8	火	身体計測（乳児）
9	水	身体計測（幼児）
15	火	０歳児健診
17	木	アートくらぶ（4）
24	木	アートくらぶ（4）

＊実習生のお知らせ
2/7～2/24　⇒大妻女子大学
2/14～2/26　⇒東京教育専門学校
PCR検査を受検してから実習に入ります
＊絵本貸出日（幼児）：2／3、10、17（木）
＊ニコニコフォト撮影日：2／3（木）
＊避難訓練は予告なしで実施します。